

NEXT きらめき

IJRU ALL JAPAN 2022 (なわとび全日本選手権大会)

- ☆シニア女子の部 30秒スピード第1位、3分スピード第1位
- ☆ジュニア女子の部 30秒スピード第3位、3分スピード第2位



令和3年12月25日(土)、26日(日)に東京都で開催された縄跳び日本一を決める「IJRU ALL JAPAN 2022」で、上岡さんは、シニア女子の部でかけ足とびの回数を競う30秒スピードで日本タイ記録の98回、3分スピードで日本新記録となる465回を跳び優勝、芳我さんは、ジュニア女子の部30秒スピードで94回を跳び第3位、3分スピードで455回を跳び第2位に入賞しました。

受験勉強の合間にも練習を続けてきた上岡さんは「大会は一発勝負で緊張したが自己ベストが出せて嬉しかった」と大会を振り返り、芳我さんは「緊張してミスをしてしまったけど全力を出し切れた。今回の反省を踏まえて練習し、アジア大会、次の全国大会で良い成績が出せるように頑張りたい」と次の目標を語ってくれました。

(※学年は、大会時のものです。)

大洲なわとびクラブ

大洲南中3年 上岡 ^{もも}百佳^かさん (右)
大洲南中1年 芳我 ^{るい}琉衣^いさん (左)

HighSchool NOW

Vol.61 大洲農業高等学校

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

生産科学科果樹班では、ブドウをはじめ、キウイや柿、イチジクなど多様な品目を栽培しています。

大洲・喜多地区は、質・量ともに県下一のブドウ産地が形成され、中山間地域における重要な経営品目となっています。しかし、先進農家見学を通して地域のブドウ栽培の課題が見えてきました。例えば黒系ブドウは、温暖化による気温の上昇で着色不良が発生し、品質低下や出荷時期の遅延が問題となっていること、シャインマスカットは高価格で販売できるものの産地間競争が激化しているということです。

そこで、現場の技術課題を解決し、ピオーネの着色向上による高品質化や、企業と連携した加工品販

売による6次化を行い、産地力を向上しようと考えています。

また、令和3年度には、全国屈指の評判の大洲和紙が生産されていることに注目し、愛媛大学社会共創学部と連携し、地域に自生しているバショウから作られる「芭蕉和紙」を利用した果実被覆資材の開発に着手しました。昨年完成した果実袋の光の透過率の測定からも着色向上に期待が持てることが分かりました。

来年度からは、地域のブドウ栽培農家のみなさんに試験栽培をお願いし、地域資源に新たな機能と価値を見だし、環境に配慮した持続可能な農業経営モデルを構築していきます。



国際ジャンプロープ連合 世界選手権 団体戦ジュニア部門

女子シングルロープ スピードリレー **第1位** チームフリースタイル **第1位**

男子シングルロープ ペアフリースタイル **第2位** チームフリースタイル **第3位**

昨年開催された国際ジャンプロープ連合世界選手権（なわとび世界大会）に日本代表選手として出場した大洲なわとびクラブ所属の8人が、団体戦ジュニア部門女子シングルロープ・スピードリレーで第1位に輝くなど上位入賞を果たしました。

コロナ禍の影響で映像審査となりましたが、令和3年1月の日本ジャンプロープ連合が主催する全国大会を経て選抜された選手が出場した世界大会で、世界トップレベルの選手やチームを相手に“世界一”の称号を獲得するなどの成績を収めました。



女子：スピードリレー第1位

チームフリースタイル第1位

上岡 ^{ももか} 百佳 選手・芳我 ^{くくる} 選手
 芳我 ^{るい} 琉衣 選手・山本 ^{わか} 羽花 選手

男子：ペアフリースタイル第2位

前田 ^{ふう} 風 選手・小西 ^{かける} 翔 選手

男子：チームフリースタイル第3位

前田 ^{ふう} 風 選手・小西 ^{かける} 翔 選手
 水本 ^{はるき} 知希 選手・前田 ^{はる} 晴 選手



きりめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急



全日本中学校技術・家庭科研究会長賞

全国創造ものづくり教育フェアで県代表となった肱川中学校中野真之介^{しんのすけ}さん製作の「水筒ホルダー」が全日本中学校技術・家庭科研究会長賞を受賞しました。自分の水筒を肩に掛けられるようにジーンズ生地をアップサイクルし、ポケットのデザインを生かす工夫や紐^{ひも}の長さを自分に合わせるなどの丁寧な仕上げが評価されました。「次は同じ水筒を使っている父の分を作ってあげたい」と話していました。



誕生祝い品贈呈式(木育推進事業)

1月28日(金)、大洲市産のヒノキ材を使った名前入りの「長木保育下駄^{ながもくほいくげた}」を誕生祝い品として令和3年4月生まれの子供たちに贈りました。この取組は、木に親しみ、木の温もりを感じながら木と触れ合うことで豊かな心を育てていただくために、木育の一環として森林環境譲与税を活用して実施するものです。今後は、令和3年4月以降に誕生した子供たちに保健センターが実施する10カ月育児相談の際に贈呈します。



東京浅草で愛媛大洲ええモンフェア

2月1日(火)から14日(月)まで、東京都台東区の「まるごとにつぼん浅草店」で大洲特産品フェアを開催しました。「まるごとにつぼん」は、日本のモノ・コト・風土といった地域資源をまるごと体験することで、その魅力を発見してほしいと名付けられた店舗です。


全国から選りすぐりの特産品が詰まった地域応援の専門店で、志ぐれやレトルトいもたき、漬物、醤油などの「大洲のええモン」を販売しました。



今治タオルを市内の福祉施設へ

2月2日(水)、株式会社愛商代表取締役の吉見正廣^{まさひろ}さんから市の事業などに役立ててほしいと今治タオル5,000枚をいただきました。株式会社愛商は、昨年11月に県内の産業経済の発展に寄与した企業などを顕彰する公益財団法人愛媛銀行ふるさと振興基金のふるさと振興賞を受賞、会社を支えていただいた地域に還元したいとの思いを込めて今治タオルを寄贈されたものです。タオルは市内の福祉施設に配布して活用します。

男女共同参画社会づくりセミナー

2月5日(土)、総合福祉センターで男女共同参画社会づくりセミナーを開催、感染予防のためオンラインで事前収録した講演となりましたが、「男と女 支え合って豊かな人生を」をテーマに西九州大学非常勤講師の吉村春生^{はるお}さんから心のメカニズムやお互いに分かり合えるヒントなどを説明していただきました。セミナーの動画を5月9日(月)まで市ホームページで公開していますのでご覧ください。 ⇒ 



肱川水系河川整備計画の住民説明会

2月7日(月)、総合福祉センターで肱川水系河川整備計画【中下流圏域】(変更原案)にかかる住民説明会が行われました。国土交通省と愛媛県では、「流域治水への転換」、「既設堤防の補強対策」、「山鳥坂ダム建設」、「野村ダム改良」などを計画に反映していく必要があることから変更原案を公表し、パブリックコメントや公聴会などにより広く意見を聴きながら変更手続きを進めています。



コロナ禍で活躍する医療従事者を応援

2月14日(月)、(公社)大洲喜多法人会から市立大洲病院の医療従事者へ「愛媛・大洲のこだわりもたぎ」230個が贈られました。同法人会では、新型コロナウイルス感染症の第一線で働く医療従事者のみなさんに感謝の気持ちを伝えるため、ほかに大洲中央病院、喜多医師会病院、大洲記念病院、加戸病院にも応援メッセージを添えた地元の特産品を贈呈しています。写真：会長の久保登^{のぼる}さん(中央)、広報委員長の満野真^{みつのしん}さん(右)



うちどくチャレンジ!コンテスト表彰式

2月19日(土)、大洲市立図書館で「うちどくチャレンジ!コンテスト」入賞者のみなさんに図書館長から賞状を授与しました。「うちどく(家読)」は、家族で同じ本を読んで感想を語り合い、コミュニケーションを深める取組です。自分や家族の感想を記録するうちどくノートの「おすすめシート」と「わがやのおすすめランキング」をまとめた応募作品418点から、5部門でそれぞれ最優秀賞・優秀賞各1点が選ばれました。



きりめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急

地域課題の解決に向けた研究成果を発表

2月13日(日)に開催された国立青少年教育振興機構主催の「地域探究プログラム-全国ステージ」に出場した長浜高等学校のチーム530（重松そらさん、島崎優希さん、下山留奈さん）の発表が、金賞ならびに全国高校生体験活動顕彰制度委員会委員長賞を受賞しました。長浜高等学校の1年生は、長浜地域が抱える課題を発見し、解決方法を考える地域研究に取り組んでいて、1月16日(日)に国立大洲青少年交流の家で行われた地方ステージ（四国ブロック）では6チームが次の研究成果を発表しました。

左から島崎優希さん、重松そらさん、下山留奈さん

- ①水族館残月プロジェクト～ニモとクラゲの焼き印で長浜を盛り上げよう～
 - ②はにがれ実写化動画で分校化を阻止せよ！～通っている高校が漫画になったので、実写化してみた～
 - ③S T O P !! 分校化～お弁当プロジェクト～
 - ④青島の今を考える～猫以外の青島の今について～
 - ⑤えひめゴミ0プロジェクト「カワイイのぼり旗でゴミを減らそう！～長浜から愛媛へ～」
 - ⑥長浜LOVE～HPを使って観光客を増やそう～
- 地方ステージで最優秀となり全国ステージに出場した「えひめゴミ0プロジェクト」は、同校が舞台となった漫画「熱帯魚は雪に焦がれる」とコラボしたのぼり旗を市内の公園や地元のスーパーに設置して、その前後のゴミの量を分析、のぼり旗を立てたことでゴミの量が減少する効果を検証しました。



きりめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急

榎谷棚田が「つなぐ棚田遺産」に

2月14日(月)、農林水産省が開催したつなぐ棚田遺産選定委員会で榎谷棚田（3ha）が「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に選定されました。

この棚田遺産は、平成11年に優れた棚田134地区が「日本の棚田百選」として認定されてから20年以上が経過した昨今、担い手不足や農家の高齢化などで保存活動が難しくなり荒廃の危機に直面している棚田地域の振興を目的としたものです。棚田は、食料の供給のみならず、国土の保全や美しい景観の形成、伝統文化の継承などに大きな役割を果たしています。このような多面的機能に対する理解を深めるために改めて優良な棚田を認定する取組です。

今回、全国で271カ所、県内では5カ所が棚田遺産に選ばれました。榎谷棚田では、保存会を設立して、棚田オーナー制度の導入や田植えや稲刈りなどのイベントの開催、SNSを活用した情報発信などを行うことで、広く地域外から人を呼び込み、交流人口の増加や棚田のPRに努めていることが評価されました。



ふるさとCM大賞・市内2団体が入賞

2月20日(日)、ふるさとCM大賞えひめ審査会の収録が行われ、長浜高等学校が知事賞（年間100回放送）、大洲市青年農業者協議会が伊予銀行賞（年間50回放送）を受賞しました。

長浜高等学校が制作したのは、「高等学校&水族館」という同校にしかない魅力を30秒にまとめたCM。分校化の危機に直面するなかで、多くの生徒に入学してほしいという地域の願いも込め、水族館のかわいい生き物も総動員して明るく楽しい雰囲気伝えていきます。番組スタッフから知事賞を伝えられた3年生の富永千夏^{ちなつ}さんは「このような賞をもらえると思っていなかったのですごく嬉しい」と喜んでいました。

また、青年農業者協議会が制作したのは、多品種多品目の農作物を生産している大洲の農業の風景や、若い世代が農業を頑張っている姿を伝えるCM。生産者と消費者をつなぐ「アグルビト（冊子・SNS）」を知ってもらい、野菜を買うときに生産者の顔が浮かぶようにしたいとの思いを映像とメンバーが作曲した音楽で表現しています。



きりめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急

豊後交流



今月は、大分県側の伝統的な行事や文化をご紹介します。

【別府市】

別府八湯温泉まつり



毎年4月1日の温泉感謝の日と4月第1週の週末を中心にイベントが開催される、別府八湯の豊かな温泉の恵みに感謝するお祭りです。



【豊後大野市】

朝倉文夫記念館・記念公園



朝地町出身の彫塑家、故朝倉文夫の作品を展示する記念館。東京藝術大学生などが製作した3体の巨大猫もみなさんをお待ちしています。



【竹田市】

岡城桜まつり
大名行列・甲冑武者行列



国指定史跡岡城跡と城下町の春の風物詩。第74回岡城桜まつり・第48回大名行列・甲冑武者行列が4月上旬に開催されます。



【臼杵市】

うすき竹宵



毎年11月第1週の週末に行われています。竹ぼんぼりと竹オブジェの灯りが並び、歴史ある古い街並みに幻想的な世界が広がります。



【佐伯市】

豊後二見ヶ浦



日の出スポットとして人気の佐伯のシンボル。重さ約2トンの大しめ縄は毎年地元有志の手で張り替えられます。



【津久見市】

つくみ港まつり



市の一大イベントで、7月中旬に開催され、特にメインの花火大会は、県内外から多くの見物客が訪れます。大迫力の花火をお楽しみください。



【由布市】

湯布院映画祭



映画館のない湯布院町で古くから行われている映画祭で、懐かしい邦画が多数上映されます。



【日出町】

的山荘



大正4年に建てられた和風建築の料亭。広大な敷地には別府湾や高崎山を借景とした庭園が広がります。特産の城下かれいをはじめとする四季折々の懐石料理がいただけます。



【大分市】

大分七夕まつり



8月第一金曜日から3日間開催。中心部商店街は七夕飾りで彩られ、山車が練り歩く「府内戦紙(ふないばっちゃん)」をはじめとするイベントや花火大会が開催されます。



コロナ禍の影響でさまざまな行事が中止されていますが、大分には、魅力的な伝統行事や文化がたくさんあります。機会があれば、ぜひ訪ねてみてください。※各市町の詳細は、二次元コードをご確認ください。

令和2年12月よりコラボ企画として大分県側の食や歴史・文化などの魅力をシリーズで掲載してきましたが、今月号で終了となります。これまでお付き合いいただきありがとうございました。

今後は、「愛媛・大分交流市町村のホームページ」を開設し、双方の魅力をお伝えしていく予定です。引き続き、各市町の魅力を余すことなくお伝えします。

【問い合わせ先】

大分市役所 企画課 広域連携推進室 ☎ 097(585)5242

【炊飯器で作るタケノコおこわ】



材料（3合分）

もち米	3合	
炊飯用水	3カップ	
乾燥ヒジキ	5g	
タケノコ	200g	
ニンジン	50g	
油揚げ	1枚	
油	小さじ1	
A	白だし、酒、 醤油、麵つゆ、 みりん	各大さじ1
	水	50cc
青のり		適宜

作り方

- ① もち米は、といでザルに入れ、水気を切り、炊飯器にもち米と同量の水を一緒に入れる。
- ② ヒジキは、水でもどし2～3cmにカットしてザルに入れる。タケノコは茹でてあくを取っておく。
- ③ タケノコは、穂先を縦半分になり縦の薄切りに、根元はいちよう切りにして、油揚げは短冊切りにする。ニンジンではできるだけ細い千切りにする。
- ④ フライパンに油を入れ、ヒジキ・タケノコ・ニンジン軽く炒める。
- ⑤ ④にAの調味料を加え、中火で5分程煮詰め、油揚げを加え、沸騰したら火を止める。
- ⑥ ①に粗熱をとった⑤を加え、炊飯器で炊き上げる。炊き上がったたら優しく混ぜ合わせて盛り付け、お好みで青のりをふりかける。

タケノコの栄養

爽やかな香りと独特の触感が魅力のタケノコは、春の到来を感じさせてくれる味覚の一つです。低カロリーでヘルシーな食材ながら、豊富な種類のビタミンが含まれています。ビタミンB₁は、疲労回復効果に、ビタミンB₂は、新陳代謝の促進や脂肪燃焼効果、細胞の再生といった効果があると言われ、ダイエットや美肌に効果が期待できます。また、抗酸化作用のあるビタミンEも含まれていて、老化防止や生活習慣病の予防にも期待できます。



【レシピ提供：大洲市保健センター】

私たちにもできる

SDGs



この目標は、「持続可能な経済成長を進め、だれもが人間らしい生産的な仕事ができる、働きがいのある雇用を促進しよう」とするものです。世界には、働きたいと思っても仕事がない失業者が約2億人以上います。そして仕事に就いていても十分な収入が得られないことから貧困から抜け出せないワーキングプアや、学校で勉強したくても働かなくてはならない子供たちの児童労働が課題となっています。また、日本でも長時間労働や過労死、ブラック企業など、労働の質の改善が求められています。そのため、働きがいがあり、十分な収入が得られて、さまざまな権利が守られる、幸せに働きながら経済を発展させていく取組が必要です。

最近、「働き方改革」という言葉をよく聞くようになりました。仕事とプライベートの両方が充実した人生を送るためにどのような働き方が良いのか、デジタル技術も利用して、働く人が働きやすい環境を整えるためにできることを考えていきましょう。



文化財

なか おやぶ
中小藪のヤマザクラ
大洲市指定天然記念物
個人所有



この木は、肱川町宇和川地区にあり、小藪温泉から小藪川を約1kmさかのぼった左岸側の尾根上にあります。

樹高は約20m、枝張りも約20mになり、推定樹齢は約200年を数えます。2本の太い幹がのびているのが特徴で、幹周はそれぞれ3.9m、2.6mを測ります。

明治期以降に普及したソメイヨシノとは品種が異なり、江戸期以前は主に野生種のヤマザクラが鑑賞され、愛でられてきました。

かつては用材としても利用されていたことから、これほど大きいヤマザクラが残されることは少なく、また、開花時は山中でひときわ目立つ存在のため、地域で大切に守られています。

(平成16年7月1日指定)